

**研究名：高齢胃癌患者における胃切除後の予後予測ノモグラムの開発：多施設共同後方視的コホート研究**

**主研究機関名：京都大学消化管外科**

研究内容：本研究の目的は、胃癌を有する高齢の患者さんにおける術後の生存期間に影響を与える因子を解明し、ノモグラムを作成することです。ノモグラムとは、術後 3 年や 5 年後に生存されている確率を計算する統計的なモデルです。田附興風会医学研究所 北野病院を含む約 10 施設において、2005 年 1 月から 2011 年 12 月に手術を施行した 80 歳以上の胃癌患者さんのデータを使用させていただきます。調査予定期間は 2016 年 3 月（倫理委員会承認後）から 12 月です。現在受診されていない患者さんについてはご紹介した医療機関に郵送で現状を確認することがございます。年齢や性別といった患者さんの基本データ、がんのステージや生存期間といった治療のデータを京都大学消化管外科に提出し、集計を行います。氏名や病院の診察券番号といったデータは匿名化して提出されます。個人情報研究組織から外部へ提供することや、この研究の目的以外に使われることはありません。また、研究発表に際しお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。研究計画書、及び研究の方法に関する資料を、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等で支障がない範囲内で閲覧することが可能です。研究対象とならないことを希望する際にはご連絡をいただければ、データの提供の停止や情報の削除が可能です。お問い合わせは、田附興風会医学研究所 北野病院 消化器センター外科 上田修吾(06-6312-8831)または京都大学消化管外科医局：075-751-3111(代)、研究担当：篠原、錦織にお願いします。